

農 林 水 産 業 費

農林水産業費の支出済額は、190,956,342円で、対前年度比37,019,608円、24.05パーセントの増で、歳出総額に対する構成比は0.37パーセントです。

6款 1項 1目 農業委員会費

農業委員会運営事業

(農業委員会事務局)

決算事項別明細書 251 ページ

予算現額	14,374,000 円	決算額	13,315,773 円		
翌年度への繰越額		財 源 内 訳	特定 国庫支出金	247,984 円	
不 用 額	1,058,227 円		特定 県支出金	985,596 円	
前 年 度 比 較	決算額		13,434,721 円	地方債	
	増減額		△118,948 円	その他	32,700 円
	増減率	△0.89%	一般財源	12,049,493 円	

<目的>

農業委員会は、農業委員会等に関する法律第3条及び地方自治法第202条の2に基づき、市町村から独立した行政委員会として設置され、農地制度に関する事務等を公平・中立に執行しています。また、地域の農業者の公的代表機関として、農地の確保・有効利用と担い手の確保・育成を図ります。

<内容>

総会を毎月1回会長が招集し、農地法等の法令に関する事項について審議するとともに、農地の利用状況調査等(農地パトロール)を地区の農業委員・農地利用最適化推進委員とが相互に協力して実施し、規模拡大を目指す農家への集積を図ります。

また、独立行政法人農業者年金基金より受託した、農業者年金に関する業務を行います。

<実績・成果等>

農業委員会の総会を12回開催し、農地法に基づく農地の権利移動の許可、農地転用申請への意見具申などの審議を中心に、農地に関する事務を執行しました。また、農地の有効利用と流動化の推進のため、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画について決定しました。そのほか耕作を放棄し荒地となっている農地につき、現地調査のうえ所有者等に勧告し、是正指導しました。

農地利用最適化推進委員は平成28年の法律改正により新設され、農地の利用状況調査や、地権者と利用者との間の農地利用に関する調整、遊休農地の解消に向けた活動等を行います。

1 農地法に基づく処理状況

(1) 第3条関係(権利移転等)取扱件数14件 許可14件 10,006平方メートル

(2) 第4条関係(転用)取扱件数27件 許可4件 1,245平方メートル

届出23件 8,908.37平方メートル

(3) 第5条関係(権利移転等を伴う転用)取扱件数116件 許可72件 46,084.33平方メートル

(一時転用許可等3件6,439.31平方メートル含む) 届出44件 17,381.76平方メートル

2 農業経営基盤強化促進法に基づく利用権設定・移転68件170筆223,079平方メートル

内訳○賃貸借37件84筆92,745平方メートル ○使用貸借25件78筆122,718平方メートル

○所有権移転6件8筆7,616平方メートル

3 各種証明件数 農家・耕作証明等62件

4 その他

(1) 農家相談定例12回 その他随時実施延べ270件

(2) 遊休農地に関する利用意向調査及び農地指導対象件数238筆、205,453平方メートル

(3) 農業者年金加入者数104人(うち被保険者数24人、待機者3人)

(4) 機関誌「さやま農委だより」発行年1回 全農家配布

6款 1項 3目 農畜産業振興費

畜産業支援事業

(農業振興課)

決算事項別明細書 253 ページ

予 算 現 額		463,000 円	決 算 額		458,920 円	
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	特定	国庫支出金	
不 用 額		4,080 円			県支出金	
前 年 度 比 較	決 算 額	442,830 円			地 方 債	
	増 減 額	16,090 円			そ の 他	
	増 減 率	3.63%		一 般 財 源	458,920 円	

<目的>

市内畜産業の健全な発展と経営の安定化を促進するため、伝染病の予防や畜舎及びその周辺的环境保全を図ります。

<内容>

家畜自衛防疫事業を補助し、畜舎の環境衛生保全用の薬剤購入費を補助します。

<実績・成果等>

1 家畜自衛防疫事業

畜産業へ大きな被害を及ぼす伝染病等を防ぎ、農家の自主的な防疫活動の促進を図るため、狭山市酪農協会が実施する家畜自衛防疫事業の実施に係る経費の一部を補助しました。

事業主体 狭山市酪農協会

補助金額 38,000 円

2 畜舎環境整備事業

都市化の進展に伴い、畜舎と一般住宅の混在が進む中、畜産公害の防止及び経営の安定化を図るため、狭山市酪農協会が実施する畜舎環境保全用薬剤購入事業に係る経費の一部を補助しました。

事業主体 狭山市酪農協会

補助金額 259,000 円

6款 1項 3目 農畜産業振興費

農業振興事業

(農業振興課)

決算事項別明細書 253 ページ

予 算 現 額		36,184,000 円	決 算 額		35,235,299 円	
翌年度への繰越額			財 源 内 訳	特定	国庫支出金	
不 用 額		948,701 円			県 支 出 金	21,994,163 円
前 年 度 比 較	決 算 額	18,576,300 円			地 方 債	
	増 減 額	16,658,999 円			そ の 他	500,000 円
	増 減 率	89.68%		一 般 財 源	12,741,136 円	

<目的>

農業経営基盤の安定化、野菜の品質向上、また安全・安心な農産物を提供することを目的とし、主に農産物の生産力強化支援や狭山市農業祭を行います。

<内容>

環境に配慮した特別栽培農産物認証制度などの活用を通じて、環境にやさしい農業を推進し、有機栽培作物等の安全安心な付加価値の高い農作物の生産向上を促進し、農産物の直売や、消費者との交流に代表される観光農業の活動を強化・支援します。また、消費者ニーズを反映した農業振興を図るため、各種イベント等を通じて生産者と消費者の相互理解や相互協力を促進します。

<実績・成果等>

1 さやま農産物生産力強化支援事業

農産物の生産力強化と農業経営の安定を図るため、当市の主力野菜や米等の生産・出荷の省力化と規模拡大のために導入する農業用機械の購入に要する経費及び農産物の品質と収量の安定と向上を目的に整備した畑地かんがい施設の改修に要する経費の一部を補助しました。また、農業振興地域内の農用地区域に新たに農地を編入した者に対して補助を行いました。

事業主体 市農業者 (14 人)、畑地かんがい組合 (2 組合)、編入農業者 (5 人)

補助金額 6,498,350 円

2 農業振興団体育成補助金

農業団体の育成のため、3 団体へ運営費を補助しました。

事業主体 狭山市 4H クラブ、狭山市農業青年会議所、堀兼若葉会

補助金額 175,000 円

3 農業制度資金利子補給金

経営意欲のある農業の担い手が、経営改善を図ろうとする場合に借り受けた長期資金の金利負担を軽減し、安定的な経営を支援するため利子補給を行いました。

事業主体 融資機関 (2 機関)

補助金額 240,560 円

6款 1項 3目 農畜産業振興費

狭山茶消費拡大振興事業

(農業振興課)

決算事項別明細書 255 ページ

予 算 現 額	4,318,000 円	決 算 額	3,301,280 円	
翌年度への繰越額		財 源 内 訳	国庫支出金	
不 用 額	1,016,720 円		県 支 出 金	500,000 円
前 年 度 比 較	決 算 額		1,979,444 円	地 方 債
	増 減 額		1,321,836 円	そ の 他
	増 減 率	66.78%	一 般 財 源	2,801,280 円

<目的>

「特産」狭山茶の生産性と品質の向上を図るとともに、茶葉の加工品等の開発を促進し、狭山茶ブランドの確立・普及に取り組み、消費拡大を図ります。

<内容>

茶樹の優良品種への改植を促進し、狭山茶の品質・生産性の向上を図ると共に、各種イベントなどに参加し、狭山茶のPR・消費拡大を推進します。また、狭山新茶と花いっぱいまつり、狭山新茶の試飲PR、茶品評会を行います。

<実績・成果等>

- 茶樹改植推進事業
茶園の生産性と生葉の品質向上を図るため、3,084本の茶樹の改植に係る経費を補助しました。
事業主体 狭山市茶業協会
補助金額 119,000 円
- 茶業振興事業
各種茶品評会の開催及び、全国・関東・県主催の茶共進会対策に係る経費を補助しました。
事業主体 狭山市茶業協会
補助金額 367,240 円
- 狭山茶振興事業費補助金（総合戦略事業）
狭山茶の振興及び消費拡大を図るため、#おうちで狭山茶アンバサダーを任命し、テレビやSNSを通じて狭山茶の情報を発信しました。また「#おうちで狭山茶」（第10回狭山茶グランプリ in SAYAMAの内容と名称を変更して開催）に係る経費の一部を補助しました。
事業主体 狭山市茶業協会
補助金額 1,000,000 円
- 狭山新茶と花いっぱいまつり
新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から本年度は中止となりました。

6款 1項 3目 農畜産業振興費

学童農業体験事業

(農業振興課)

決算事項別明細書 255 ページ

予算現額	1,530,000円	決算額	1,525,000円	
翌年度への繰越額		財源内訳	特定財源	
不 用 額	5,000円		国庫支出金	
前年度 比較	決算額		1,519,000円	県支出金
	増減額		6,000円	地方債
	増減率	0.39%	その他	
		一般財源	1,525,000円	

<目的>

生産地と消費地が混在している本市農業にとっては、消費者の農業への理解と協力が不可欠であるため、子どもたちの農業についての意識を高め、農業者等の指導を受け、できるだけ多くの生産プロセスを体験する、農業の体験活動の取組を推進します。

<内容>

子どもたちが土と親しみながら作物を育て、その収穫の喜びを味わうなど、体験を通じ、農業の大切さを実感できるよう、保育所、幼稚園、小中学校において、農業体験事業を実施します。

また、平成26年度より実施している「学童農業体験指導農業者連携推進事業」により、学校等が指導する農業者の協力・連携のもと農業体験活動を更に充実できるよう支援を行います。

<実績・成果等>

1 学童農業体験事業

市内13保育所、2幼稚園、16小学校、7中学校の計38校において、農業体験事業を実施しました。

事業主体 市内保育所、幼稚園、小学校、中学校（計38校）

委託金額 1,226,000円

2 学童農業体験指導農業者連携推進事業

学童農業体験事業参加校の内、狭山台小学校、新狭山小学校、西中学校、いるまこども園、けやき認定こども園の5校が実施する農業体験事業について、補助を行いました。

事業主体 狭山台小学校、新狭山小学校、西中学校

いるまこども園、けやき認定こども園（計5校）

補助金額 299,000円

6款 1項 3目 農畜産業振興費

コロナ禍における原油価格・物価高騰等総合緊急対策事業

(農業振興課)

決算事項別明細書 255 ページ

予 算 現 額	24,900,000 円	決 算 額	20,330,000 円		
翌年度への繰越額		財 源 内 訳	特定 国庫支出金	20,330,000 円	
不 用 額	4,570,000 円		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決 算 額		0 円	地 方 債	
	増 減 額		20,330,000 円	そ の 他	
	増 減 率	皆増	一 般 財 源		

<目的>

コロナ禍において、原油価格や電気・ガス料金を含む物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の負担軽減を図ります。

<内容>

原油価格や物価高騰等に伴い、影響を大きく受けている農業者に対して、農業経営の継続を支援することを目的として、農業収入に応じて、100,000 円を上限とする支援金を交付する「事業者応援！農業経営継続支援事業」を実施します。

<実績・成果等>

事業者応援！農業経営継続支援事業

235 農業者に対して、合計 20,330,000 円の支援金を交付しました。

6款 1項 4目 農地費

農業施設管理事業

(農業振興課)

決算事項別明細書 255 ページ

予 算 現 額	5,149,000 円	決 算 額	4,813,266 円	
翌年度への繰越額		財 源 内 訳	国庫支出金	
不 用 額	335,734 円		県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決 算 額		13,478,796 円	地 方 債
	増 減 額		△8,665,530 円	そ の 他
	増 減 率	△64.29%	一 般 財 源	4,813,266 円

<目的>

農業水利施設の適正な維持管理と老朽化への対策実施により、農業生産の維持、農業経営の安定化を図ることを目的とします。

<内容>

土地改良事業により整備された施設の適正な維持管理を行います。

<実績・成果等>

- 1 農道の側溝及び浸透井の清掃業務委託を実施しました。

委 託 名	委 託 場 所	委 託 料	摘 要
農道側溝等清掃業務委託	狭山市大字中新田地内	891,000 円	
農道浸透井等清掃業務委託	狭山市大字上赤坂地内	748,000	
農道産業廃棄物(汚泥)処分業務委託	狭山市内	462,605	単価契約 35,750 円/t

- 2 用水組合による用・排水路の清掃活動及び大雨時の水門操作等を実施し、狭山市農業振興事業費補助金交付要綱に基づき、用水組合(狭山市用水組合6組合)に対して補助金を交付することにより、農業施策の推進を図りました。

用水組合事業費補助金 600,000 円

6款 1項 5目 農村環境改善センター費

農村環境改善センター管理事業

(農業振興課)

決算事項別明細書 257 ページ

予 算 現 額		9,689,000 円		決 算 額		8,260,642 円	
翌年度への繰越額				財 源 内 訳	特定	国庫支出金	
不 用 額		1,428,358 円				県支出金	
前 年 度 比 較	決 算 額	3,732,440 円				地 方 債	
	増 減 額	4,528,202 円				そ の 他	839,127 円
	増 減 率	121.32%			一 般 財 源	7,421,515 円	

<目的>

農業行政の一環として、地域農業振興の拠点的な施設である農村環境改善センターの利用に関することや、施設維持などの管理業務を適切に行います。

<内容>

施設の利用許可に関することや施設機能の維持と修繕を行います。

<実績・成果等>

区分	多目的ホール		農事研修室		生活改善室		会 議 室		料理実習室		合 計	
4月	27件	298人	17件	266人	2件	8人	4件	34人	5件	44人	55件	650人
5月	21	215	10	156	0	0	5	51	5	41	41	463
6月	25	291	8	102	6	24	2	22	5	46	46	485
7月	21	157	16	242	0	0	15	47	12	101	64	547
8月	34	330	14	191	2	34	3	18	2	16	55	589
9月	28	269	11	152	8	90	4	31	5	46	56	588
10月	47	648	12	151	12	114	1	18	8	67	80	998
11月	43	542	14	302	14	254	10	160	7	54	88	1,312
12月	26	332	9	115	0	0	4	40	5	44	44	531
1月	20	186	14	203	7	164	5	66	8	66	54	685
2月	25	363	17	291	10	145	3	39	15	117	70	955
3月	78	1,447	23	324	13	334	14	158	7	78	135	2,341
合計	395	5,078	165	2,495	74	1,167	70	684	84	720	788	10,144